



Catalyst 6500 シリーズ Distributed Forwarding Card 4 for WS-X68xx および WS-X69xx モジュール インストール ノート

OL-24918-01-J

【注意】 シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意 (www.cisco.com/jp/go/safety_warning/) をご確認ください。

本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動 / 変更されている場合がありますことをご了承ください。

あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。

また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

このマニュアルでは、WS-X69xx、WS-X68xx、および DFC4 をサポートする特定の WS-X67xx イーサネット モジュールに Distributed Forwarding Card 4 (DFC4) ドーター カードを取り付ける手順および取り外す手順について説明します。



(注)

このマニュアルでは、特に明記されていないかぎり、DFC4 ドーター カードという用語は DFC4-A、DFC4-AXL、DFC4-E、および DFC4-EXL ドーター カードを意味します。

内容

このマニュアルの内容は、次のとおりです。

- 「概要」 (P.2)
- 「必要な工具および部品」 (P.3)
- 「安全性に関する概要」 (P.4)
- 「CFC または DFC3 ドーター カードの取り外し」 (P.4)
- 「DFC4 ドーター カードの取り外し」 (P.12)
- 「DFC4 ドーター カードの取り付け」 (P.16)
- 「シャーシのイーサネット モジュールの取り外しおよび取り付け」 (P.22)
- 「マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート」 (P.30)

概要

ここでは、DFC ドーター カードの概要と仕様について説明します。DFC4 ドーター カードは、WS-X69xx および WS-X68xx シリーズ ライン カード (WS-X6816-GBIC イーサネット モジュールを除く) にプレインストールされて出荷されます。特定の WS-X67xx イーサネット モジュールも、DFC4 ドーター カードを使用してアップグレードできます。表 1 に、DFC4 ドーター カードが出荷時に付属している WS-X68xx イーサネット モジュールを示します。表 2 に、DFC4 ドーター カードを使用して現場でアップグレードできる WS-X67xx イーサネット モジュールを示します。



(注) DFC4 ドーター カードを装着したモジュールをサポートしているのは、Cisco IOS ソフトウェア リリース 12.2(50)SY で動作する Supervisor Engine 2T だけです。

表 1 WS-X69xx および WS-X68xx イーサネット モジュールでの DFC4 ドーター カードの使用とサポート

ベースのイーサネット モジュール	搭載されている DFC ドーター カード	アップグレード可能
WS-X6908-10G	WS-F6K-DFC4-E (モジュールのラベルは WS-X6908-10G-2T) WS-F6K-DFC4-EXL (モジュールのラベルは WS-X6908-10G-2TXL)	WS-X6908-10G-2T モジュールは WS-F6K-DFC4-EXL ドーター カードを使用し てアップグレード可能
WS-X6824-SFP	WS-F6K-DFC4-A (モジュールのラベルは WS-X6824-SFP-2T) WS-F6K-DFC4-AXL (モジュールのラベルは WS-X6824-SFP-2TXL)	WS-X6824-SFP-2T モジュールは WS-F6K-DFC4-AXL ドーター カードを使用し てアップグレード可能
WS-X6848-SFP	WS-F6K-DFC4-A (モジュールのラベルは WS-X6848-SFP-2T) WS-F6K-DFC4-AXL (モジュールのラベルは WS-X6848-SFP-2TXL)	WS-X6848-SFP-2T モジュールは WS-F6K-DFC4-AXL ドーター カードを使用し てアップグレード可能

表 1 WS-X69xx および WS-X68xx イーサネット モジュールでの DFC4 ドーター カードの使用とサポート (続き)

ベースのイーサネット モジュール	搭載されている DFC ドーター カード	アップグレード可能
WS-X6848-GE-TX	WS-F6K-DFC4-A (モジュールのラベルは WS-X6848-TX-2T) WS-F6K-DFC4-AXL (モジュールのラベルは WS-X6848-TX-2TXL)	WS-X6848-TX-2T モジュールは WS-F6K-DFC4-AXL ドーター カードを使用し てアップグレード可能
WS-X6816-10GE	WS-F6K-DFC4-E (モジュールのラベルは WS-X6816-10G-2T) WS-F6K-DFC4-EXL (モジュールのラベルは WS-X6816-10G-2TXL)	WS-X6816-10G-2T モジュールは WS-F6K-DFC4-EXL を使用してアップグレード 可能
WS-X6816-10T	WS-F6K-DFC4-E (モジュールのラベルは WS-X6816-10T-2T) WS-F6K-DFC4-EXL (モジュールのラベルは WS-X6816-10T-2TXL)	WS-X6816-10T-2T モジュールは WS-F6K-DFC4-EXL を使用してアップグレード 可能

表 2 WS-X67xx イーサネット モジュールでの DFC4 ドーター カードのアップグレード

ベースのイーサネット モジュール	搭載されている DFC ドーター カード	DFC4 ドーター カードを使用してアップグレード 可能
WS-X6724-SFP	CFC、DFC3A、DFC3B、DFC3BXL、DFC3C、 または DFC3XL	はい。WS-F6K-DFC4-A または WS-F6K-DFC4-AXL のいずれかを使用
WS-X6748-SFP	CFC、DFC3A、DFC3B、DFC3BXL、DFC3C、 または DFC3XL	はい。WS-F6K-DFC4-A または WS-F6K-DFC4-AXL のいずれかを使用
WS-X6716-10GE	DFC3A、DFC3B、DFC3BXL、DFC3C、また は DFC3XL	はい。WS-F6K-DFC4-E または WS-F6K-DFC4-EXL のいずれかを使用
WS-X6748-GE-TX	DFC3A、DFC3B、DFC3BXL、DFC3C、また は DFC3XL	はい。WS-F6K-DFC4-A または WS-F6K-DFC4-AXL のいずれかを使用
WS-X6716-10T	DFC3A、DFC3B、DFC3BXL、DFC3C、また は DFC3XL	はい。WS-F6K-DFC4-E または WS-F6K-DFC4-EXL のいずれかを使用
WS-X6704-10GE	DFC3A、DFC3B、DFC3BXL、DFC3C、また は DFC3XL	はい。WS-F6K-DFC4-A または WS-F6K-DFC4-AXL のいずれかを使用

必要な工具および部品

DFC4 ドーター カード キットには次の部品が含まれています。

- DFC4-A、DFC4-AXL、DFC4-E、または DFC4-EXL の各ドーター カード
- 使い捨て静電気防止用リスト ストラップ × 1

DFC4 ドーター カードの取り外しと取り付けには、次の工具と付属品が必要です。

- 取り外したモジュールを置くための静電気防止用マットと、取り外した DFC ドーター カードを保存するための静電気防止用袋
- 手持ちの静電気防止器具またはアップグレード キットに含まれる使い捨て静電気防止用リスト ストラップ

- DFC ドーター カード取り付け金具用の No.1 プラス ドライバ

安全性に関する概要

誤って行うと危険が生じる可能性のある操作については、安全上の警告が記載されています。各警告文に、警告を表す記号が記されています。

ステートメント 1071 : 警告の定義



Warning

IMPORTANT SAFETY INSTRUCTIONS

This warning symbol means danger. You are in a situation that could cause bodily injury. Before you work on any equipment, be aware of the hazards involved with electrical circuitry and be familiar with standard practices for preventing accidents. Use the statement number provided at the end of each warning to locate its translation in the translated safety warnings that accompanied this device. Statement 1071

SAVE THESE INSTRUCTIONS

警告 安全上の重要な注意事項

「危険」の意味です。人身事故を予防するための注意事項が記述されています。装置の取り扱い作業を行うときは、電気回路の危険性に注意し、一般的な事故防止策に留意してください。警告の各国語版は、各注意事項の番号を基に、装置に付属の「Translated Safety Warnings」を参照してください。

これらの注意事項を保管しておいてください。



警告

この装置の設置、交換、または保守は、訓練を受けた相応の資格のある人が行ってください。ステートメント 1030



警告

システムの稼動時には、バックプレーンに危険な電圧または電流が流れています。保守を行う場合は注意してください。ステートメント 1034

CFC または DFC3 ドーター カードの取り外し

DFC4 ドーター カードを使用して表 2 に示す WS-X67xx イーサネット モジュールの 1 つをアップグレードする場合は、CFC または DFC3 ドーター カードを取り外してから、新しい DFC4 ドーター カードを取り付ける必要があります。次の 2 つの手順を示します。

- 「CFC ドーター カードの取り外し」(P.5)

- 「DFC3 ドーター カードの取り外し」 (P.8)



(注)

DFC3 ドーター カードを DFC4 ドーター カードに交換すると、モジュールは Supervisor Engine 2T でのみ動作するようになります。

CFC ドーター カードの取り外し

WS-X67xx イーサネット モジュールに CFC ドーター カードが装着されている場合は、それを取り外してから DFC4 ドーター カードを取り付ける必要があります。



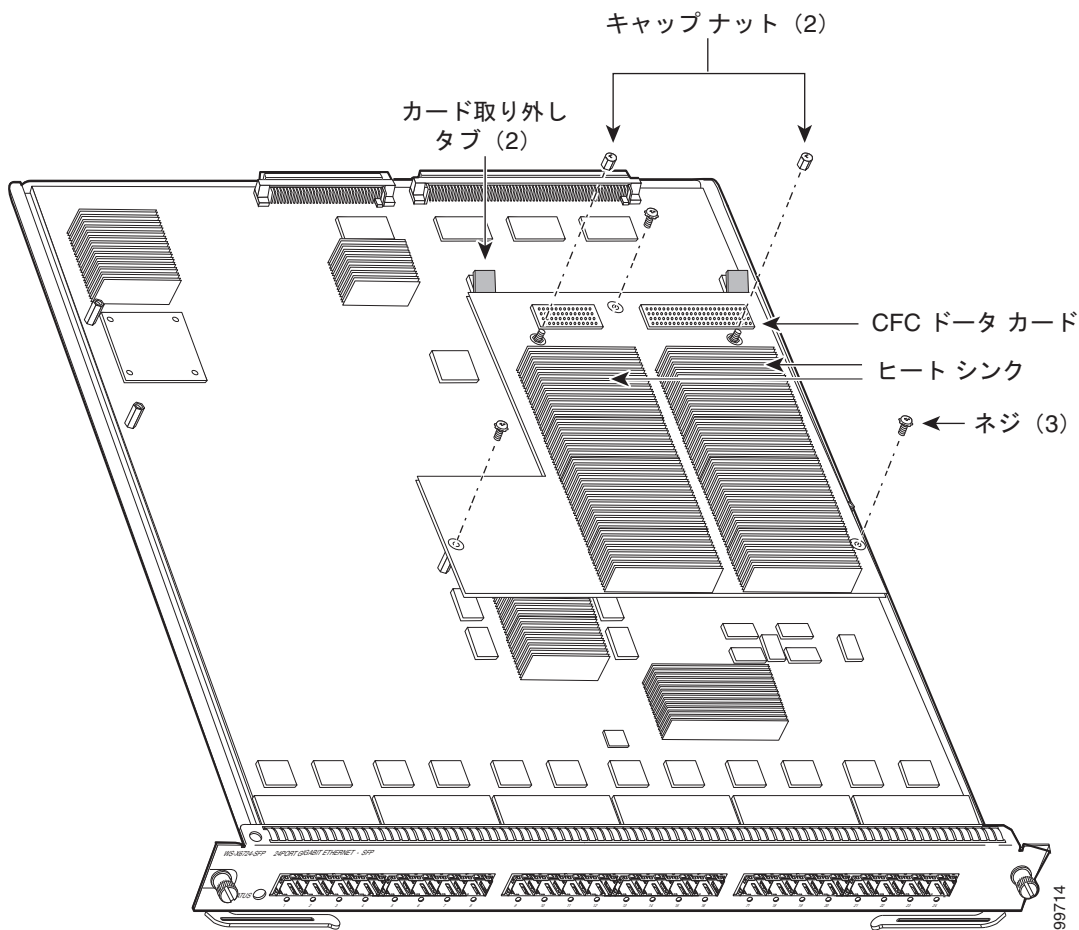
警告

作業中は、カードの静電破壊を防ぐため、必ず静電気防止用リストストラップを着用してください。感電する危険があるので、手や金属工具がバックプレーンに直接触れないようにしてください。
ステートメント 94

CFC ドーター カードを取り外す手順は、次のとおりです。

- ステップ 1** 静電気防止用アース ストラップを手首とアースに接続します。
- ステップ 2** Catalyst 6500 シリーズ スイッチからイーサネット モジュールを取り外します。
スイッチ シャーシからモジュールを取り外す正しい手順がよくわからない場合は、「シャーシのイーサネット モジュールの取り外しおよび取り付け」 (P.22) の取り外し手順を参照してください。
- ステップ 3** モジュールの前面が手前になるように、静電気防止用マットの上にイーサネット モジュールを置きます。
- ステップ 4** プラス ドライバを使用して、取り付け金具 (3 つの固定ネジと 2 つのキャップ ナットで構成) を取り外します (図 1 を参照)。

図 1 CFC ドーターカード取り付け金具



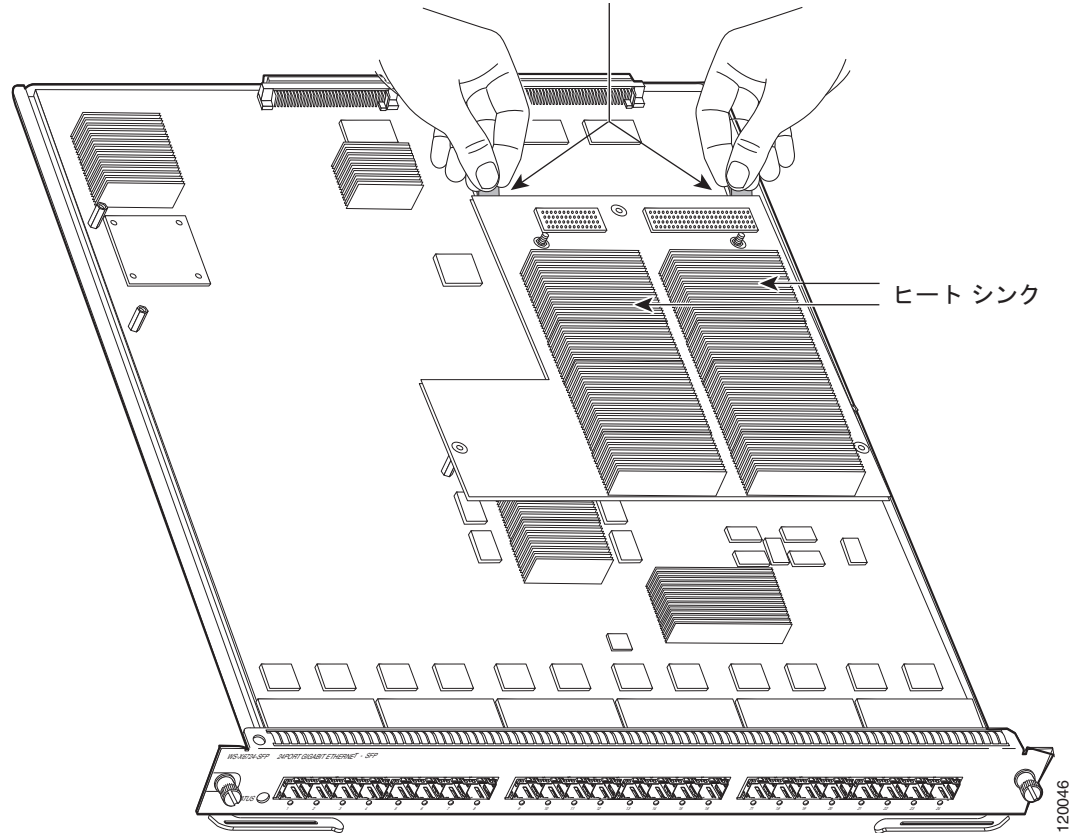
ステップ 5 イーサネット モジュールから CFC ドーターカードを外すには、CFC ドーターカードの後ろ側にあるタブをそれぞれ親指と人差し指でつまんで、コネクタが外れるまでタブをゆっくりと押し下げます (図 2 を参照)。



注意

モジュールが破損するおそれがあるため、タブを強く押しすぎないようにしてください。

図 2 CFC ドーターカード コネクタの取り外し



- ステップ 6** 両手で CFC ドーターカードをゆっくりと持ち上げて、モジュールから CFC ドーターカードを取り外し、ただちに CFC ドーターカードを静電気防止用袋の中に入れます。
- ステップ 7** 「[DFC4 ドーターカードの取り付け](#)」(P.16) に進みます。

DFC3 ドーター カードの取り外し

WS-X67xx イーサネット モジュールに DFC3 ドーター カードが装着されている場合は、それを取り外してから DFC4 ドーター カードを取り付ける必要があります。





警告

作業中は、カードの静電破壊を防ぐため、必ず静電気防止用リストストラップを着用してください。感電する危険があるので、手や金属工具がバックプレーンに直接触れないようにしてください。

ステートメント 94

モジュールから DFC3 ドーター カードを取り外す手順は、次のとおりです。

- ステップ 1** 静電気防止用アース ストラップを手首とアースに接続します。
- ステップ 2** シャーシからイーサネット モジュールを取り外します。
スイッチ シャーシからモジュールを取り外す正しい手順がよくわからない場合は、「イーサネット モジュールのシャーシからの取り外し」(P.22) の取り外し手順を参照してください。
- ステップ 3** モジュールの前面が手前になるように、静電気防止用マットの上にイーサネット モジュールを置きます。
- ステップ 4** DFC ドーター カードに  3 に示すような小さな金属の取り付けブラケットが付いている場合は、No.1 プラス ドライバを使用して、ブラケットを固定している 2 つのキャップ ナットと 1 つのネジを取り外します。これらのキャップ ナットとネジはブラケットとともに脇に置いておきます。ブラケットがない場合は、2 つのキャップ ナットと 1 つのネジを取り外すだけです。
- ステップ 5** 残った取り付け金具を取り外します ( 3 を参照)。



(注)


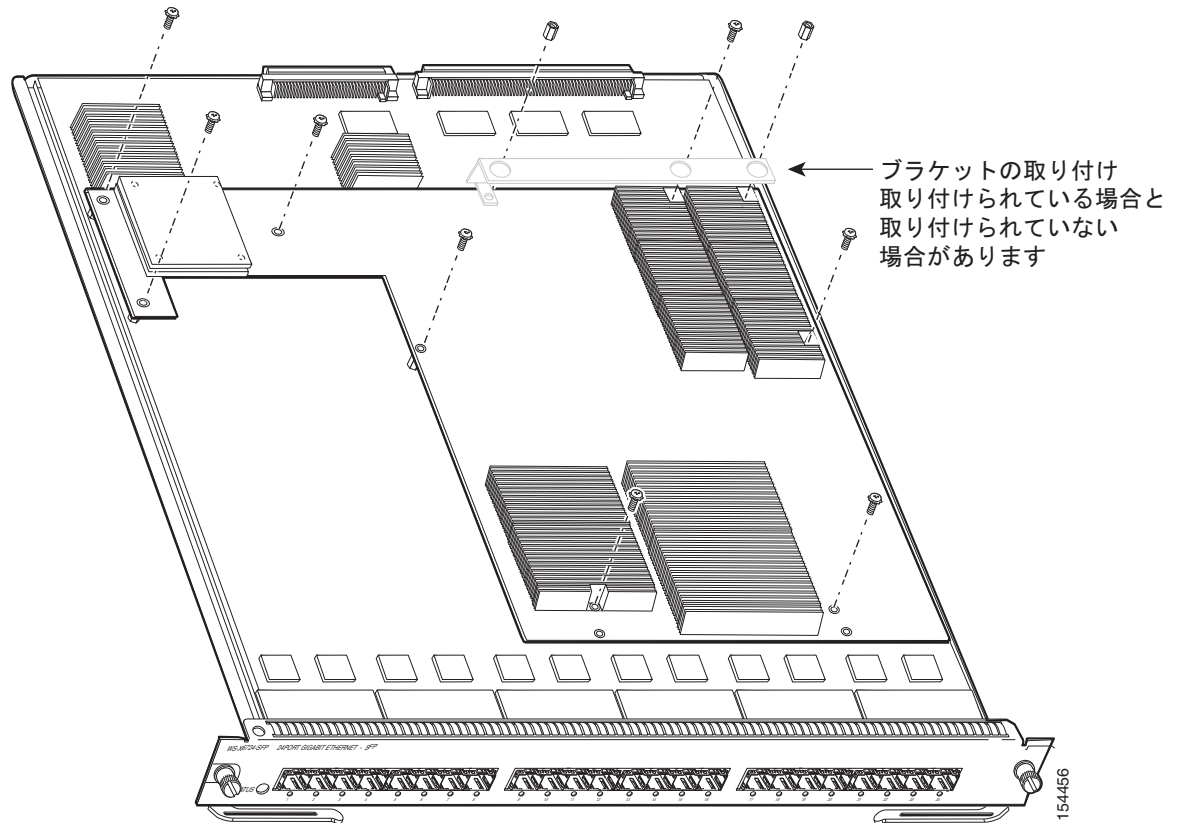
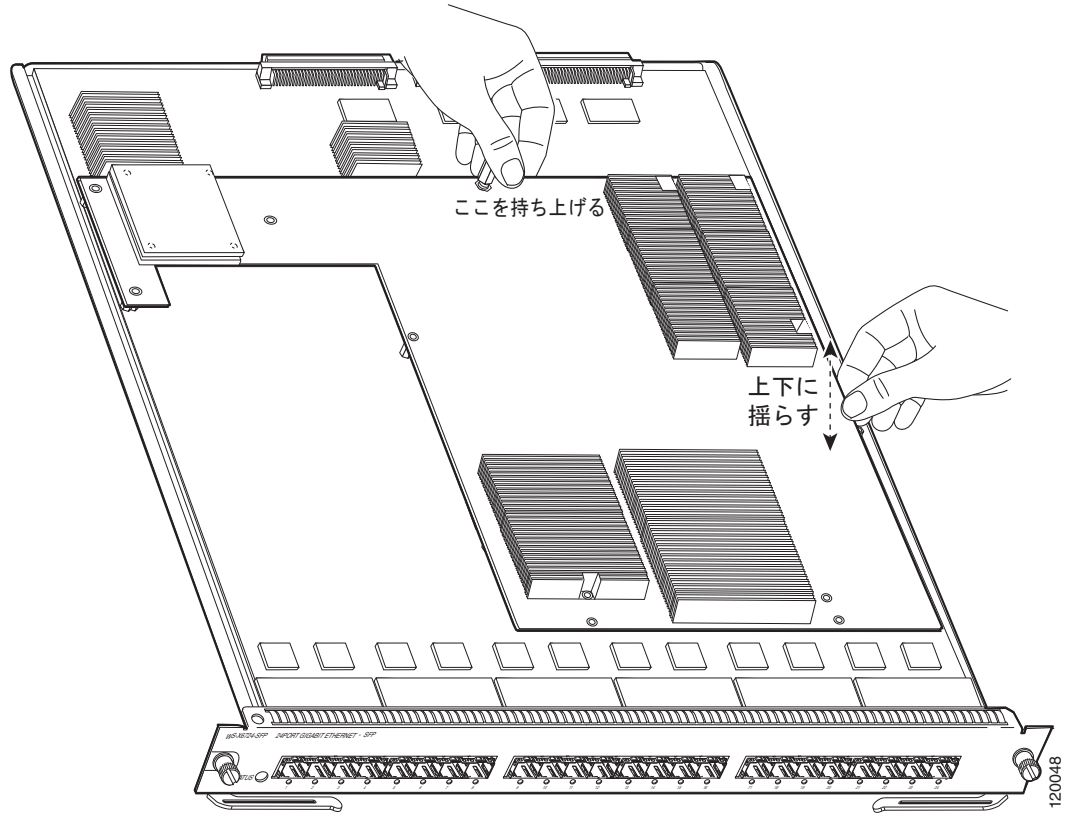
 3 に示す取り付け金具は、DFC3B または DFC3BXL ドーター カード用のものです。DFC3C または DFC3CXL ドーター カード用の取り付け金具には、6 つのネジ、2 つのキャップ ナット、および 1 つのスタンドオフがあります。

図 3 DFC3 ドーターカード取り付け金具の取り外し



- ステップ 6** キャップナットを 3 回ほど回して、キャップナットの底と DFC3 ドーターカードの上部との隙間が約 1/8 インチ (3 mm) ぐらいになるように、ゆるめに取り付けられた状態にします (図 4 を参照)。キャップナットは、DFC3 ドーターカードが水平方向に動いてベースボードを損傷しないように、ドーターカードのコネクタを外したときの止め具の働きをします。

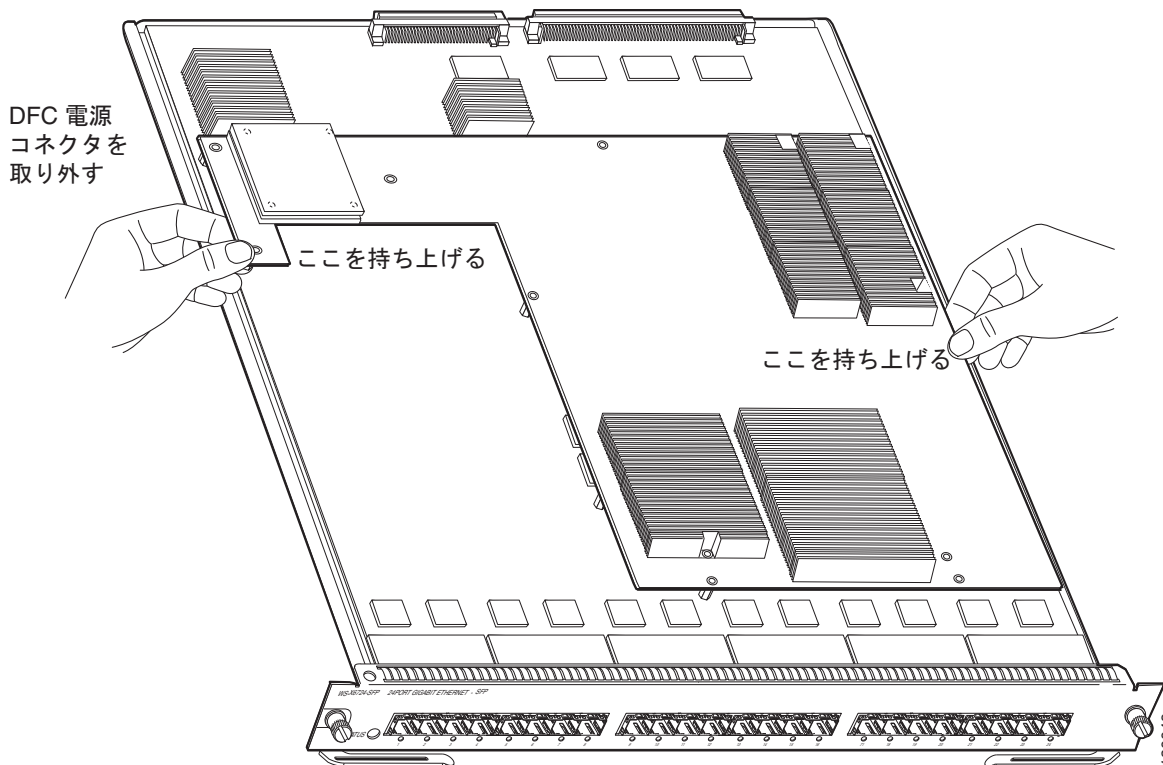
図 5 DFC3 ドーターカードのモジュールからの取り外し



ステップ 8 このキャップ ナットを取り外します。

ステップ 9 両手で DFC3 ドーターカードをつかみ、モジュールからゆっくりと持ち上げます (図 6 を参照)。ただし、DFC3 ドーターカードを静電気防止用袋の中に入れます。

図 6 DFC3 ドーター カードのモジュールからの取り外し



DFC4 ドーター カードの取り外し



警告

作業中は、カードの静電破壊を防ぐため、必ず静電気防止用リストストラップを着用してください。感電する危険があるので、手や金属工具がバックプレーンに直接触れないようにしてください。
ステートメント 94

イーサネット モジュールから DFC4 ドーター カードを取り外す手順は、次のとおりです。

- ステップ 1 静電気防止用アース ストラップを手首とアースに接続します。
- ステップ 2 シャーシからイーサネット モジュールを取り外します。
スイッチ シャーシからモジュールを取り外す正しい手順がよくわからない場合は、「イーサネット モジュールのシャーシからの取り外し」(P.22) の取り外し手順を参照してください。
- ステップ 3 モジュールの前面が手前になるように、静電気防止用マットの上にイーサネット モジュールを置きます。
- ステップ 4 DFC4 ドーター カード取り付け金具を取り外します。WS-F6K-DFC4-E または WS-F6K-EXL ドーター カード取り付け金具の取り外しについては、図 7 を参照してください。WS-F6K-DFC4-A または WS-F6K-DFC4-AXL ドーター カード取り付け金具の取り外しについては、図 8 を参照してください。

図 7 DFC4 ドーターカード取り付け金具 (WS-F6K-DFC4-A または -AXL) の取り外し

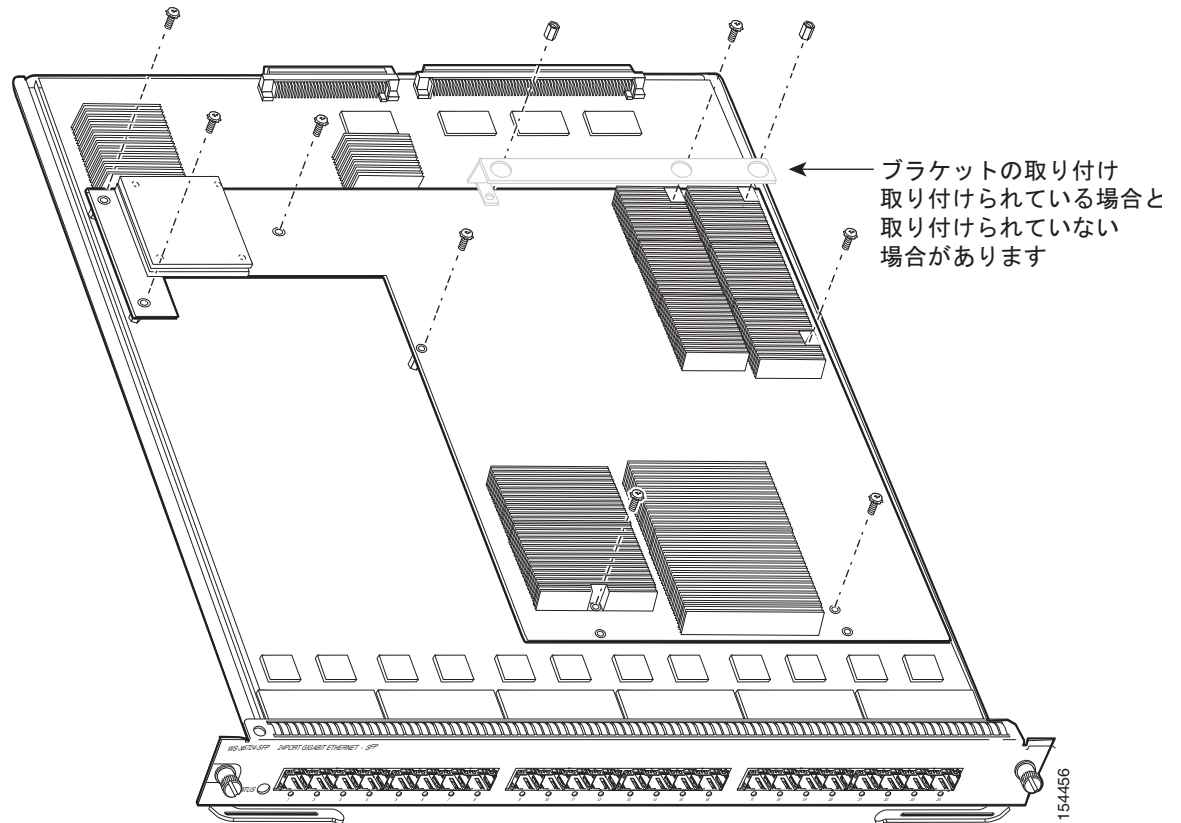
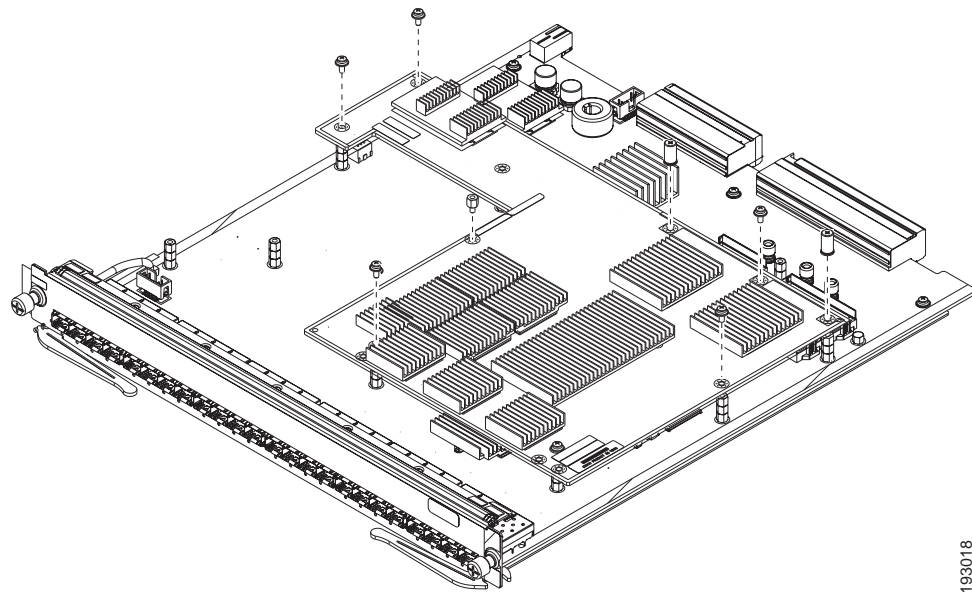
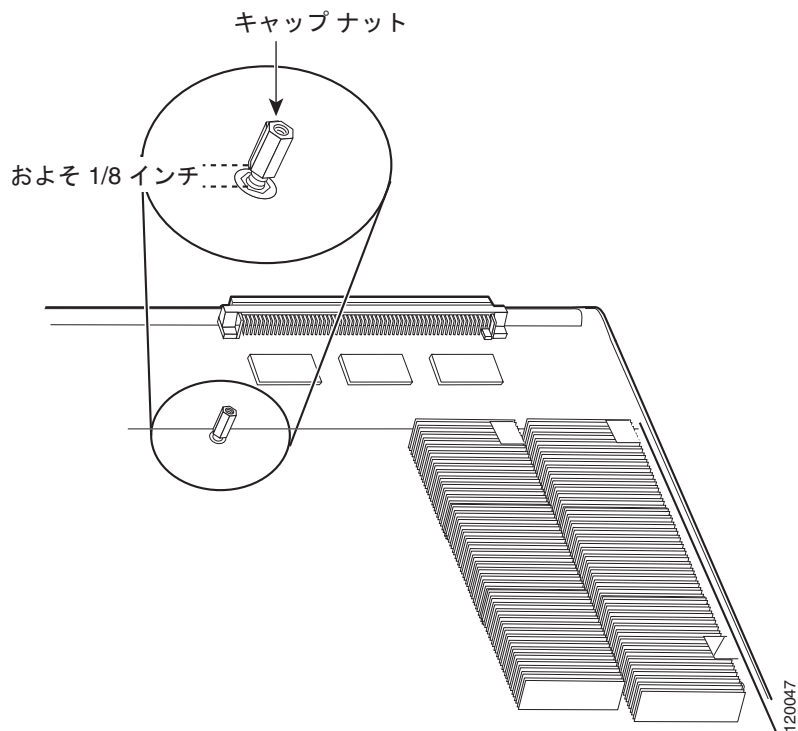


図 8 DFC4 ドーターカード取り付け金具 (WS-F6K-DFC4-E または -EXL) の取り外し



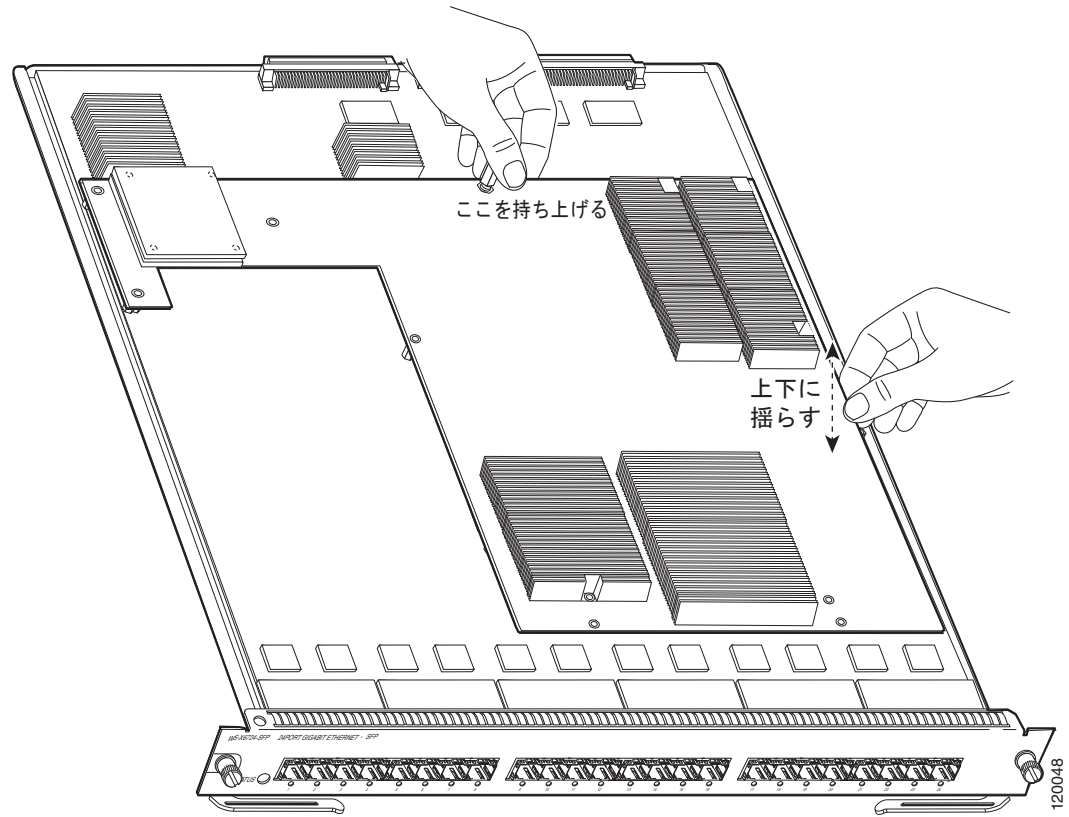
- ステップ 5** キャップ ナットを 3 回ほど回して、キャップ ナットの底と DFC4 ドーター カードの上部との隙間が約 1/8 インチ (3 mm) ぐらいになるように、ゆるめに取り付けられた状態にします (図 9 を参照)。キャップ ナットは、DFC4 ドーター カードが水平方向に動いてイーサネット モジュールを損傷しないように、ドーター カードのコネクタを外したときの止め具の働きをします。

図 9 ゆるめに取り付けられた状態のキャップ ナット



- ステップ 6** 図 10 に示す部分を左手でわずかに持ち上げます。左手で DFC4 ドーター カードを持ち上げながら、右手で上下に揺らして、モジュールから DFC4 ドーター カードを外します。揺らす幅は上下ともに 0.5 インチ以内です。

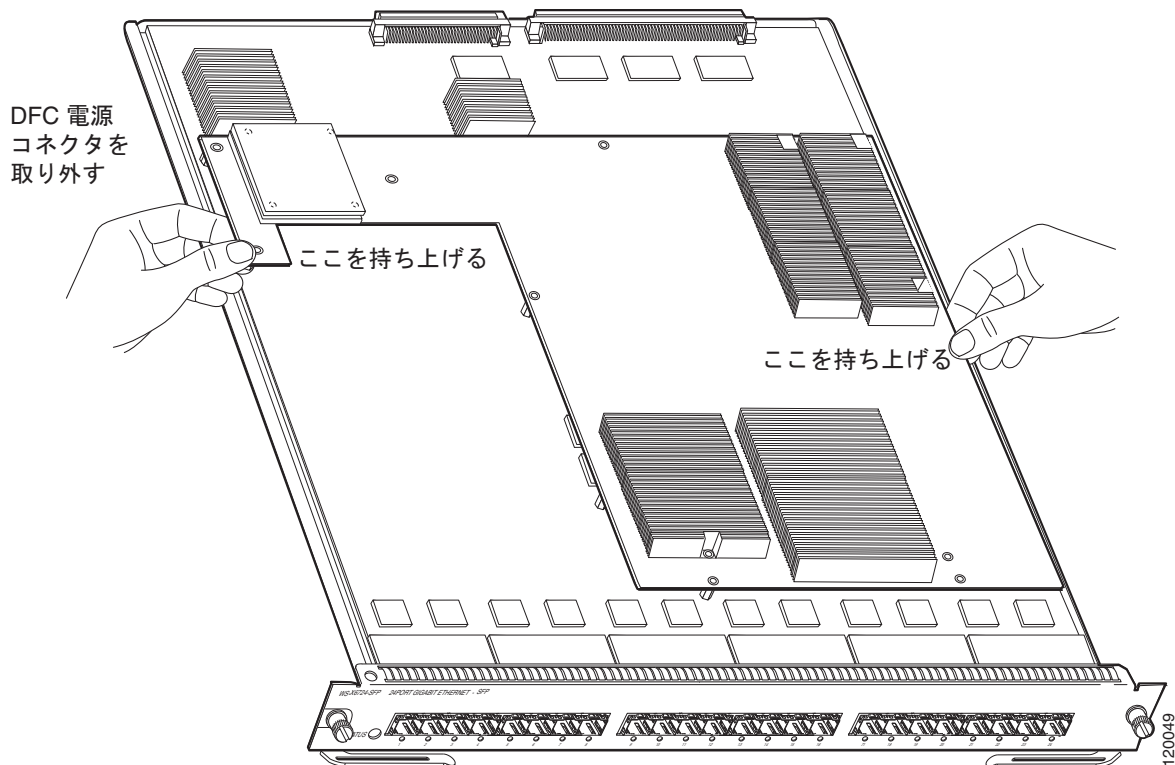
図 10 DFC4 ドーターカードのモジュールからの取り外し



ステップ 7 このキャップ ナットを取り外します。

ステップ 8 両手で DFC4 ドーターカードをつかみ、モジュールからゆっくりと持ち上げます。(図 11 を参照)。ただし、DFC4 ドーターカードを静電気防止用マットの上に置くか、静電気防止用袋の中に入れます。

図 11 DFC4 ドーター カードのモジュールからの取り外し



DFC4 ドーター カードの取り付け



警告

作業中は、カードの静電破壊を防ぐため、必ず静電気防止用リストストラップを着用してください。感電する危険があるので、手や金属工具がバックプレーンに直接触れないようにしてください。
ステートメント 94

イーサネット モジュールに DFC4 ドーター カードを取り付ける手順は、次のとおりです。

- ステップ 1 静電気防止用アース ストラップを手首とアースに接続します。
- ステップ 2 パッケージから新しい DFC4 ドーター カードと取り付け金具を取り出します。



(注) DFC4 ドーター カードは、さまざまなモジュールに取り付けられるように設計されています。そのため、DFC4 ドーター カードの取り付け穴の数が、モジュールのスタンドオフの数より多い場合があります。取り付けを行うときに、DFC4 ドーター カードの取り付け穴をすべて使用するとは限りません。取り付け穴の下にスタンドオフがあることを確認してから、取り付け金具を取り付けてください。

ステップ 3 DFC4 ドーターカードの取り付け穴 (図 12 を参照) を、モジュールのオス スタンドオフに合わせます。(図 13 を参照)。DFC4 ドーターカードの残りの取り付け穴が、モジュールの残りのスタンドオフの位置に合っていることを確認します。

図 12 DFC4 ドーターカードの取り付け穴

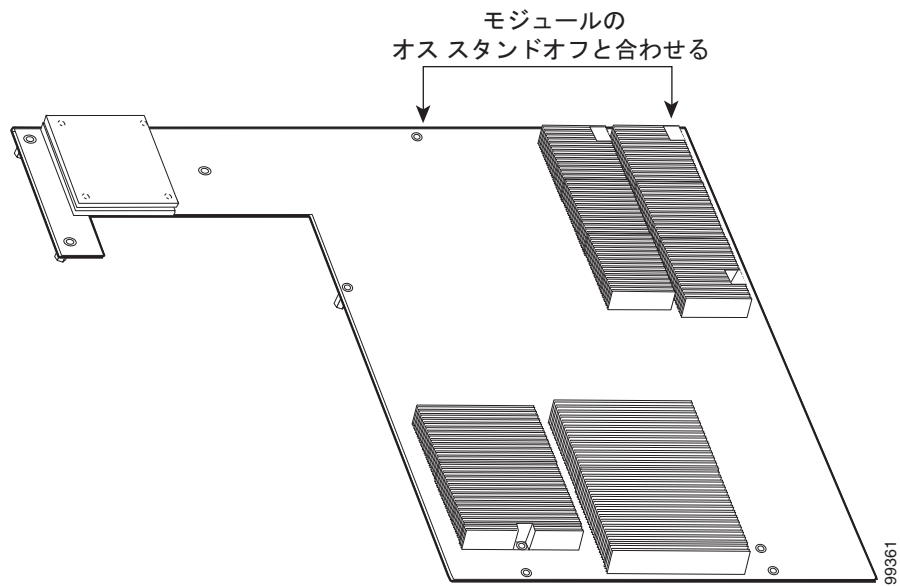
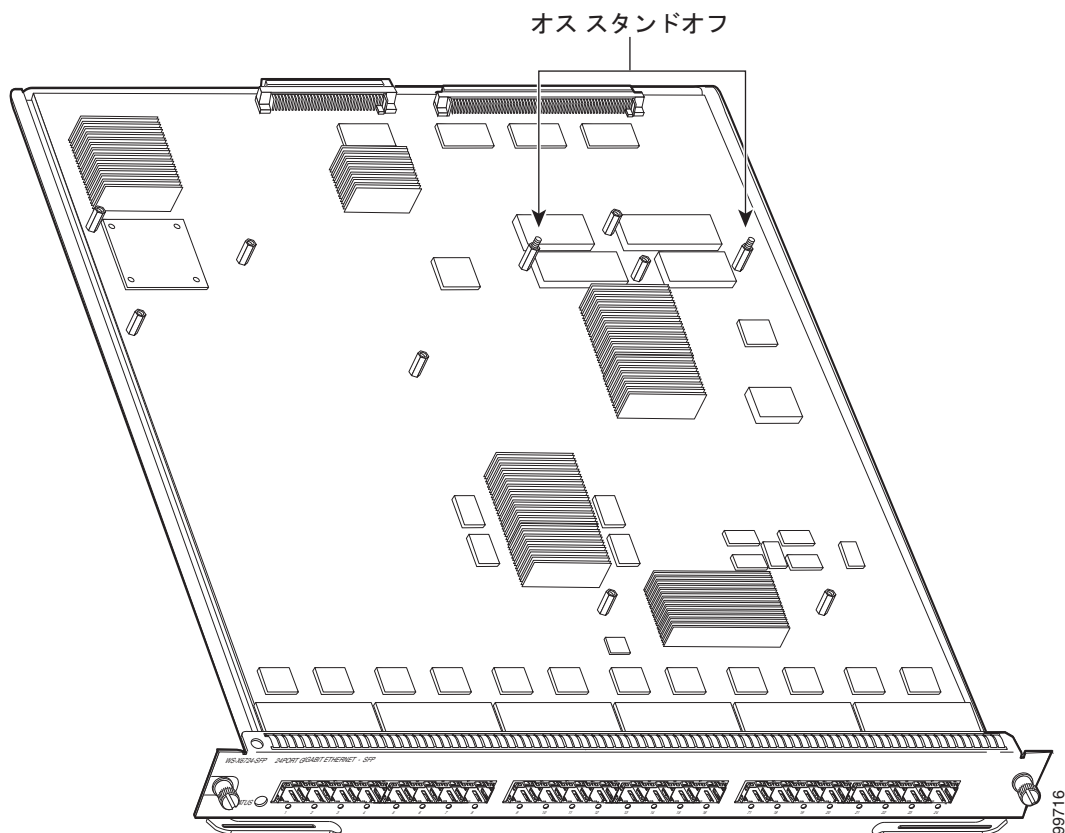
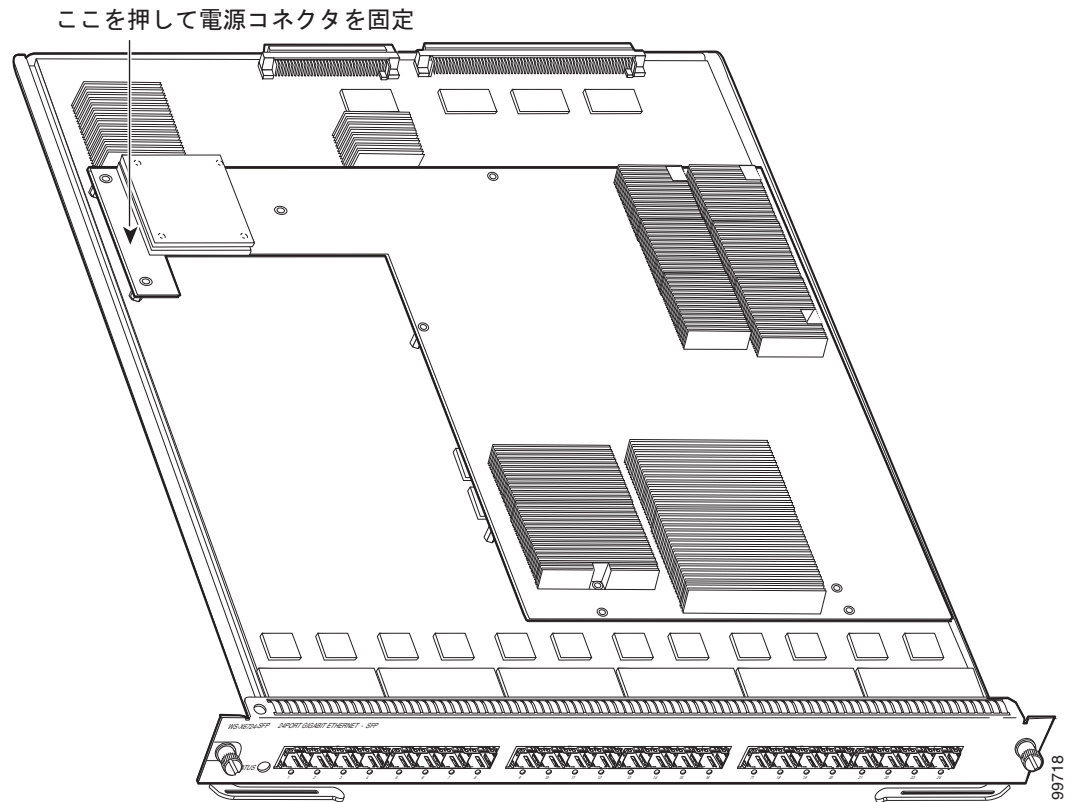


図 13 WS-X68xx モジュールのオス スタンドオフの位置



ステップ 4 DFC4 ドーター カードのコネクタの位置が、モジュールのコネクタの位置と合っていることを確認します。図 14 に示す部分を押して、電源コネクタを固定します。

図 14 電源コネクタの固定

**注意**

モジュールのコネクタを破損しないように注意してください。コネクタが破損したら、モジュールを返送して修理する必要があります。

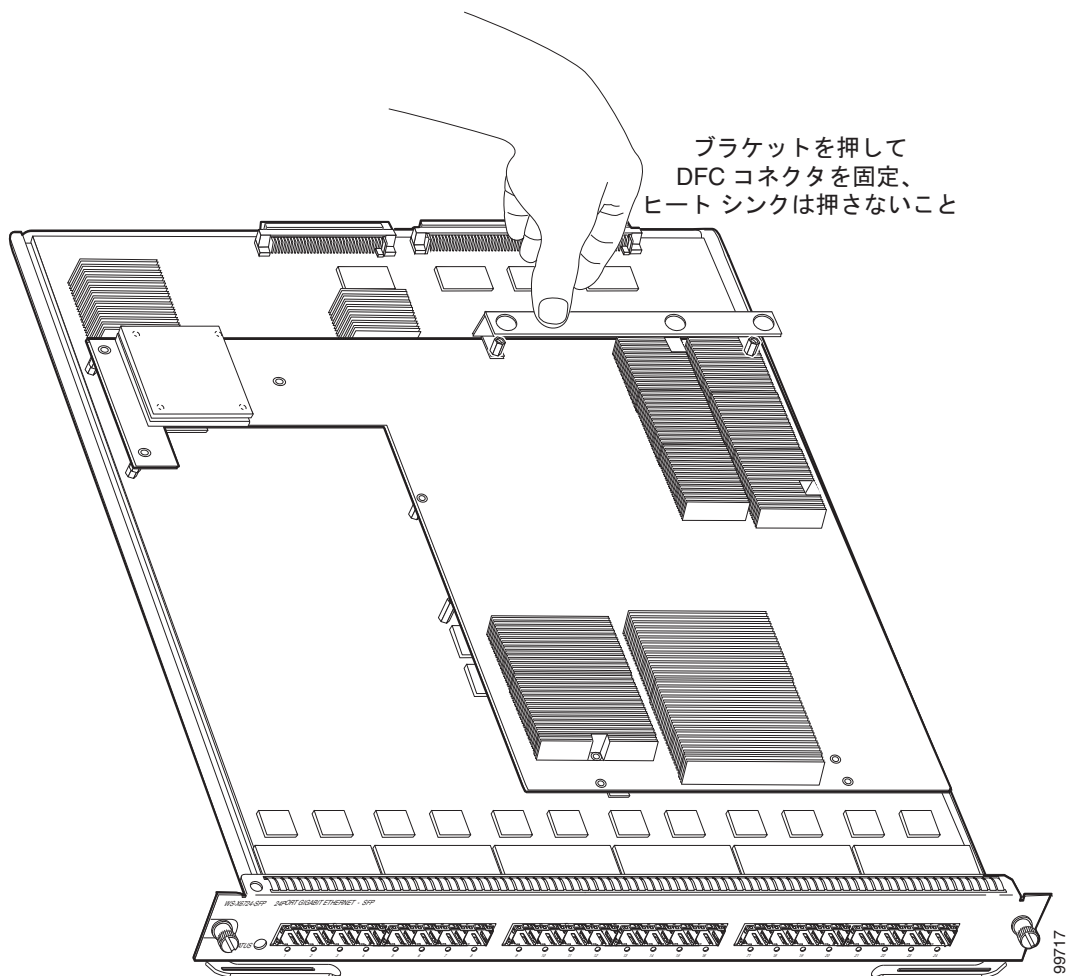
ステップ 5

取り付けブラケットを DFC4 ドーターカードの裏側の 2 つのオス スタンドオフの位置に合わせます。DFC4 ドーターカードがモジュールに完全に固定されるまで、ブラケットの上部だけを押します (図 15 を参照)。

**注意**

DFC ドーターカードを固定する際には、DFC ドーターカード上の別の場所 (特にヒートシンク) は押さないでください。ヒートシンクを押すと、接続されているコンポーネントが外れることがあります。

図 15 モジュールへの DFC4 ドーター カードの固定



- ステップ 6** プラス ドライバを使用して、取り付け金具を取り付けます。
- a. DFC4-A および DFC4-AXL ドーター カードの場合は、9 つのネジと 2 つのスタンドオフを取り付けます。(図 16 を参照)。
 - b. DFC4-E および DFC4-EXL ドーター カードの場合は、6 つのネジ、2 つのキャップ ナット、および 1 つのスタンドオフを取り付けます。(図 17 を参照)。



注意

すべての取り付け金具を取り付ける必要があります。ネジは、DFC4 ドーター カードとイーサネット モジュールの間にアースを提供します。ネジをすべて取り付けないと、安全規格に適合しなくなり、火災や電気事故の原因になることがあります。



(注)

取り付け穴の下にスタンドオフがあることを確認してから、取り付け金具を取り付けてください。

図 16 DFC4-A および DFC4-AXL ドーターカード用取り付け金具の取り付け

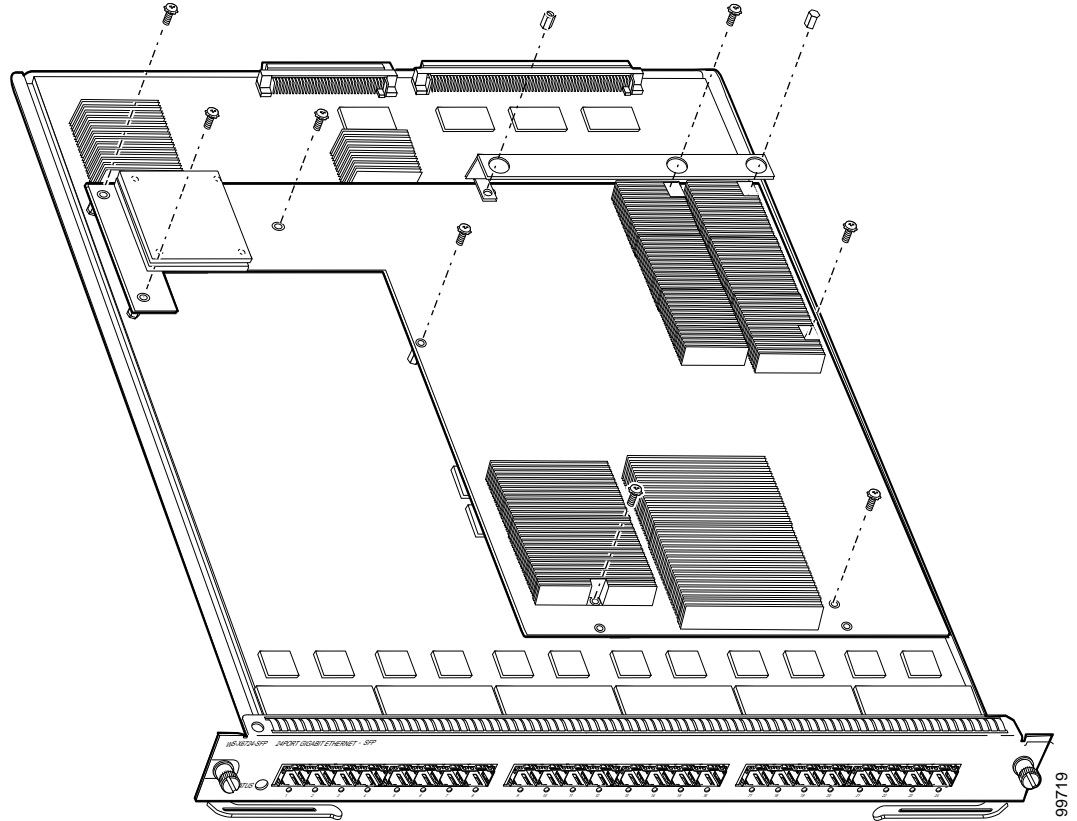
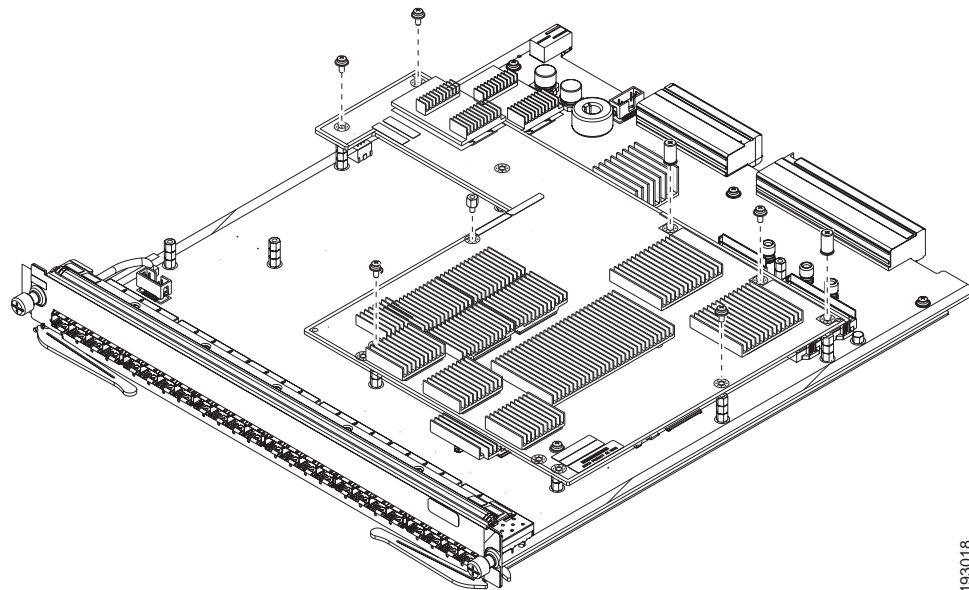


図 17 DFC4-E および DFC4-EXL ドーターカード用取り付け金具の取り付け



- ステップ 7** イーサネット モジュールをシャーシに再び取り付けます。
- スイッチ シャーシにイーサネット モジュールを取り付ける正しい手順がよくわからない場合は、「シャーシのイーサネット モジュールの取り外しおよび取り付け」(P.22) の取り付け手順を参照してください。

シャーシのイーサネット モジュールの取り外しおよび取り付け

ここでは、Catalyst 6500 シリーズ スイッチ シャーシ スロットのイーサネット モジュールの正しい取り外しおよび取り付け方法を説明します。



- (注)** WS-X68xx および WS-X69xx イーサネット モジュールでは、隣接する空きスロット（上下または左右）にスイッチングモジュール フィラー プレート（シスコ部品番号 WS-X6K-SLOT-CVR-E または SLOTBLANK-09）が取り付けられている必要があります。いずれかの未使用スロットに現在、空きスロット カバー（シスコ部品番号 WS-X6K-SLOT-CVR）が取り付けられている場合は、NEBS 準拠のため空きスロット カバーをスイッチングモジュール フィラー プレートに取り替える必要があります。



注意

作業中は、カードの静電破壊を防ぐため、必ず静電気防止用リストストラップを着用してください。



警告

接続されていない光ファイバ ケーブルやコネクタからは目に見えないレーザー光が放射されている可能性があります。レーザー光を直視したり、光学機器を使用して直接見たりしないでください。
ステートメント 272

イーサネット モジュールのシャーシからの取り外し

イーサネット モジュールをシャーシから取り外す手順は次のとおりです。

- ステップ 1** イーサネット モジュールに取り付けられているすべてのネットワーク インターフェイス ケーブルを外します。
- ステップ 2** 静電気防止用アース ストラップを手首とアースに接続します
- ステップ 3** シャーシに取り付けられているすべてのモジュールについて、非脱落型ネジがしっかりと締まっていることを確認します。この手順により、取り外されたモジュールによって作られたスペースが維持されます。



- (注)** 非脱落型ネジが緩んでいると、取り付けられたモジュールの Electromagnetic Interference (EMI; 電磁干渉) ガスケットによって、空いているスロットの方向へモジュールが大きく押されるため、空きスペースが減少し、モジュールを再び取り付けることが難しくなります。

- ステップ 4** イーサネット モジュールの 2 つの非脱落型ネジを緩めます。

ステップ 5 シャーシのスロットの方向（水平または垂直）により、次の 2 つの手順のうちのどちらかを実行します。

水平スロット

- a. モジュール前面プレートの左右両側にある左右のイジェクト レバーに親指を置き、レバーを同時に外側に回転させてイーサネット モジュールをシャーシのバックプレーン コネクタから外します。
- b. モジュールの前端をつかみ、モジュール部分をスロットの外に引き出します。もう一方の手はイーサネット モジュールの下に置いて、モジュールの重さを支えます。モジュールの回路に手を触れないでください。
- c. 取り外したイーサネット モジュールを、適切にアースされている静電気防止用マットまたは静電気防止材の上に置きます。

垂直スロット

- a. イーサネット モジュールの上部と下部にあるイジェクト レバーに親指を置き、レバーを同時に外側に回転させてイーサネット モジュールをシャーシのバックプレーン コネクタから外します。
- b. モジュールの前端をつかみ、モジュール部分をスロットの外に引き出します。もう一方の手はイーサネット モジュールの下に置いて、モジュールの重さを支えます。モジュールの回路に手を触れないでください。
- c. 取り外したイーサネット モジュールを、適切にアースされている静電気防止用マットまたは静電気防止材の上に置きます。

イーサネット モジュールのシャーシへの取り付け



注意

静電破壊を防ぐため、モジュールはフレームの端だけを持つようにし、静電気防止用リスト ストラップを着用してください。



警告

接続されていない光ファイバ ケーブルやコネクタからは目に見えないレーザー光が放射されている可能性があります。レーザー光を直視したり、光学機器を使用して直接見たりしないでください。
ステートメント 1051

モジュールをシャーシに取り付ける手順は次のとおりです。

ステップ 1 静電気防止用アース ストラップが手首に装着され、適切なアースに接続されていることを確認します。

ステップ 2 シャーシに取り付けられたすべてのモジュール上で非脱落型ネジが緩んでいないことを確認します。この手順により、取り付けられたすべてのモジュールの EMI ガスケットが完全に圧縮され、イーサネット モジュールのために最大限のスペースが確保されます。



(注) 非脱落型ネジが緩んでいると、取り付けられたモジュールの Electromagnetic Interference (EMI; 電磁干渉) ガスケットによって、空いているスロットの方向へモジュールが大きく押されるため、空きスペースが減少し、モジュールを再び取り付けることが難しくなります。

ステップ 3 イーサネット モジュールの両側のイジェクト レバーを完全に開きます (図 18 を参照)。

ステップ 4 シャーシのスロットの方向 (水平または垂直) により、次の 2 つの手順のうちのどちらかを実行します。

水平スロット

- a. イーサネット モジュールをスロット内に配置します (図 18 を参照)。モジュールのフレームの端が、スロットの両側にあるスロット ガイドに合っていることを確認します。
- b. イーサネット モジュールを慎重にスロット内に滑り込ませて、モジュール上端に並ぶ EMI ガasket がすぐ上のスロットに搭載されているモジュールに触れ、両側のイジェクト レバーがカチッとハマってイーサネット モジュールの前面プレートに対して約 45 度の角度に倒れるまで押し込みます (図 19 を参照)。
- c. 両手の親指と人差し指で 2 つのイジェクト レバーを押し下げて、モジュールの EMI ガasket と真上のモジュールの間にわずかな隙間 (0.040 インチ (1 mm)) を作ります。(図 19 を参照)。



注意

曲がったり壊れたりするおそれがあるため、レバーを強く押し下げないでください。

- d. 左右のイジェクト レバーをゆっくりと押しながら、同時に内側に閉じます。これによって、イーサネット モジュールがシャーシのバックプレーン コネクタに完全に装着されます。イジェクト レバーが完全に閉じると、モジュールの前面プレートにぴったり重なった状態になります。(図 20 を参照)。



(注) シャーシのバックプレーン コネクタにモジュールが完全に装着されていないと、エラーメッセージが表示されることがあります。

- e. イーサネット モジュールの 2 つの非脱落型ネジを締めます。



(注) 非脱落型ネジを締める前に、イジェクト レバーが完全に閉じていることを確認してください。

- f. イーサネット モジュールのステータス LED が点灯していることを確認します。ステータス LED は定期的に確認してください。ステータス LED がオレンジからグリーンに変化した場合、モジュールは正常にブート プロセスを終了してオンラインになっています。ステータス LED がオレンジのまま、またはレッドになった場合、ブート プロセスが正常に終了せず、エラーが発生した可能性があります。

図 18 水平スロット シャーシへのモジュールの取り付け

モジュールをスロット
ガイドの間に挿入する

EMI ガスケット

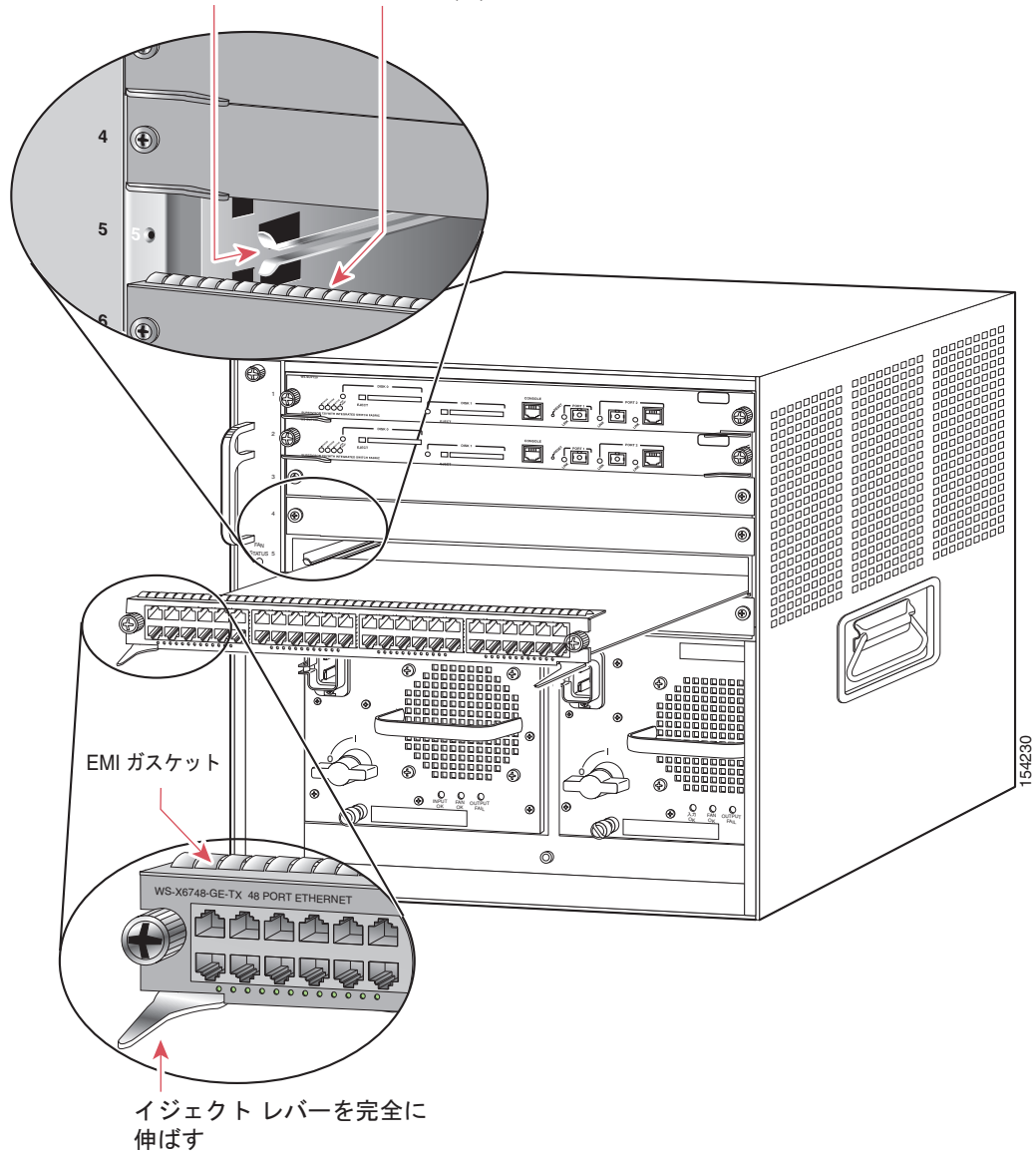
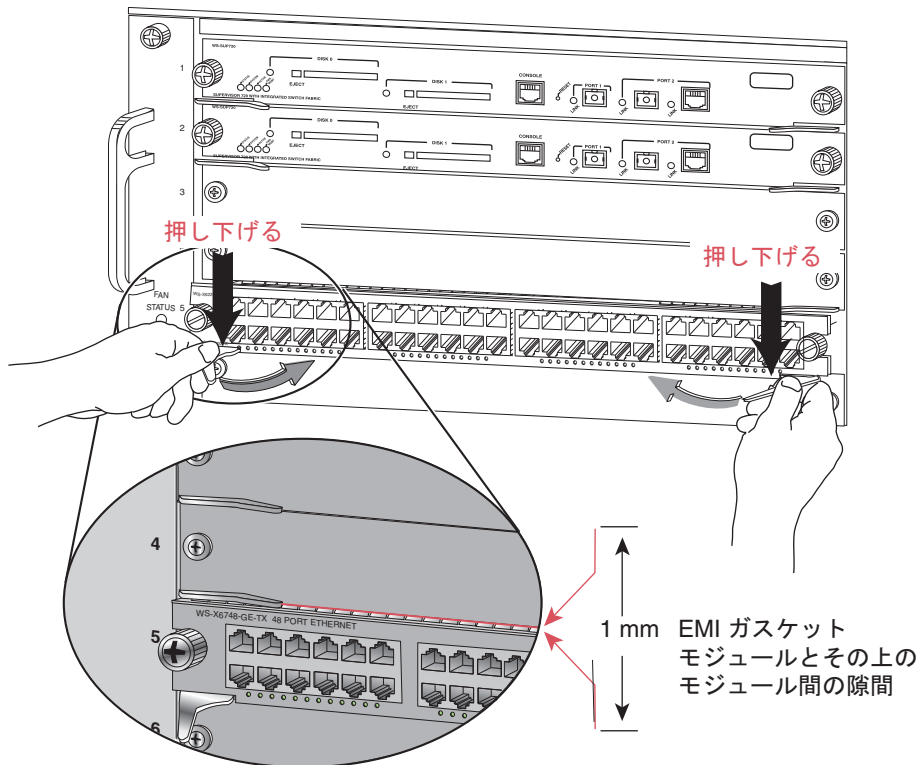
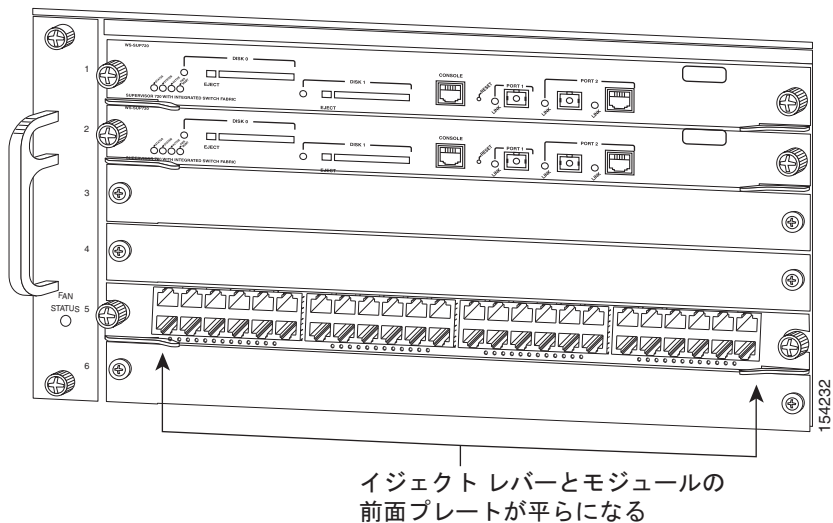


図 19 水平スロット シャーシの EMI ガスケットの調整



154231

図 20 水平スロット シャーシのイジェクト レバーを閉じた状態



154232

垂直スロット

- a. イーサネット モジュールをスロット内に配置します (図 21 を参照)。モジュールのフレームの端が、シャーシのスロットの上下にあるスロット ガイドに合っていることを確認します。
- b. イーサネット モジュールを慎重にスロット内に滑り込ませて、モジュールの前面プレートの右端に並ぶ EMI ガスケットが隣接するスロットのモジュールに触れ、両側のイジェクト レバーがイーサネット モジュールの前面プレートに対して約 45 度の角度に倒れるまで押し込みます (図 22 を参照)。
- c. 両手の親指および人差し指で 2 つのイジェクト レバーを持ち、左の方向に少し押してモジュールを約 0.040 インチ (1 mm) 動かし、モジュールの EMI ガスケットと隣接するモジュールとの間に小さな隙間を作ります。(図 22 を参照)。

**注意**

曲がったり壊れたりするおそれがあるため、イジェクト レバーを強く押しすぎないようにしてください。

- d. イジェクト レバーをゆっくりと押しながら、同時に内側に閉じます。これによって、イーサネット モジュールがシャーシのバックプレーン コネクタに完全に装着されます。イジェクト レバーを完全に閉じると、イーサネット モジュールの前面プレートとイジェクト レバーが平らにそろいます (図 23 を参照)。
- e. イーサネット モジュールの 2 つの非脱落型ネジを締めます。



(注) 非脱落型ネジを締める前に、イジェクト レバーが完全に閉じていることを確認してください。

- f. イーサネット モジュールのステータス LED が点灯していることを確認します。ステータス LED は定期的を確認してください。ステータス LED がオレンジからグリーンに変化した場合、モジュールは正常にブート プロセスを終了してオンラインになっています。ステータス LED がオレンジのまま、またはレッドになった場合、ブート プロセスが正常に終了せず、エラーが発生した可能性があります。

図 21 垂直スロット シャーシへのモジュールの取り付け

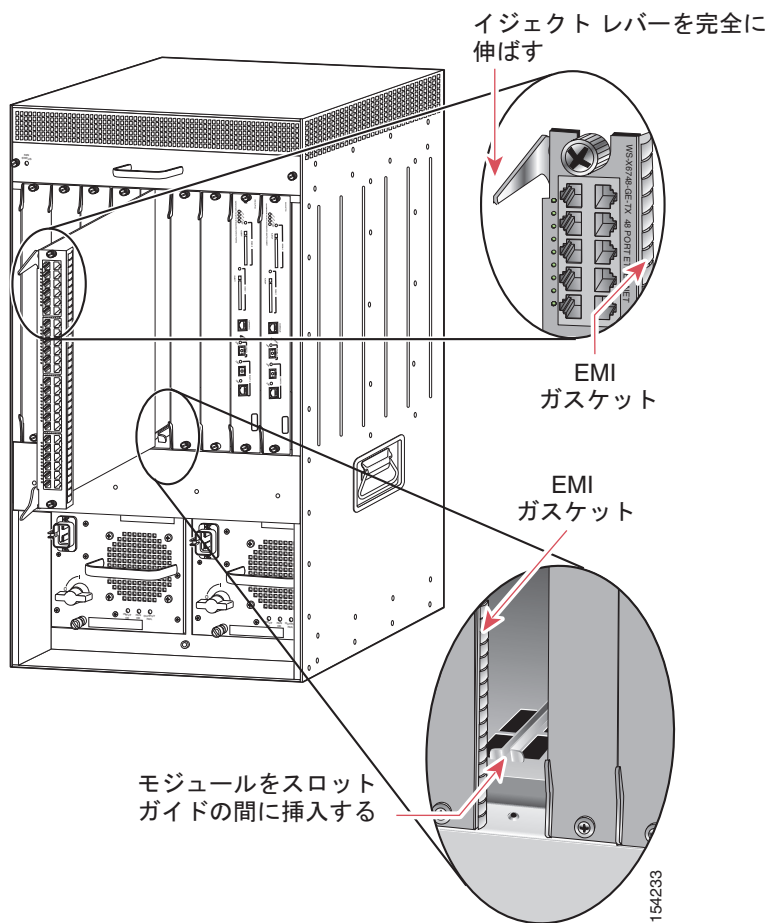


図 22 垂直スロット シャーシの EMI ガasket の調整

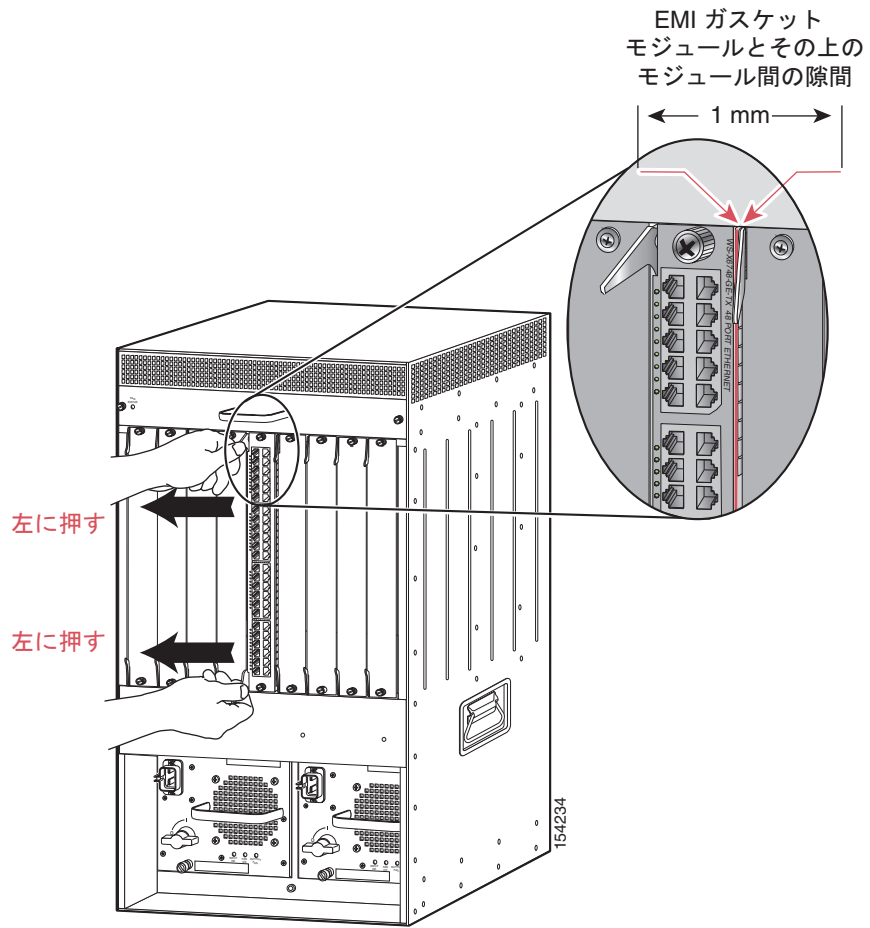
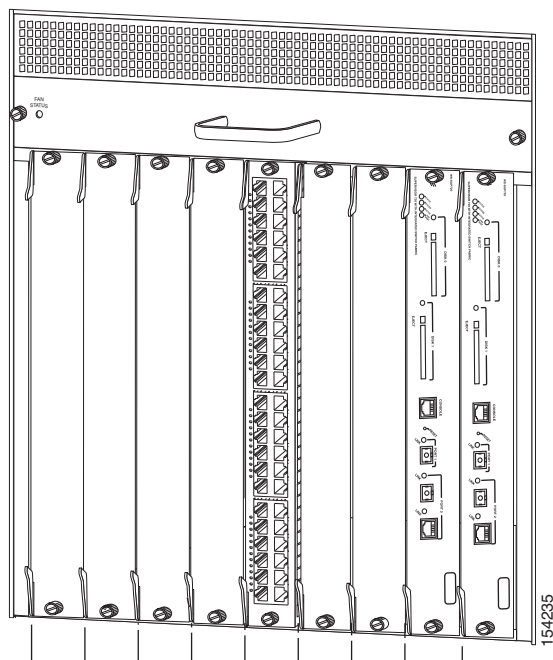


図 23 垂直スロット シャーシのイジェクト レバーを閉じた状態



すべてのイジェクト レバーとモジュールの
前面プレートが平らになる

マニュアルの入手方法およびテクニカル サポート

マニュアルの入手方法、テクニカル サポート、その他の有用な情報について、次の URL で、毎月更新される『*What's New in Cisco Product Documentation*』を参照してください。シスコの新規および改訂版の技術マニュアルの一覧も示されています。

<http://www.cisco.com/en/US/docs/general/whatsnew/whatsnew.html>

『*What's New in Cisco Product Documentation*』は RSS フィードとして購読できます。また、リーダーアプリケーションを使用してコンテンツがデスクトップに直接配信されるように設定することもできます。RSS フィードは無料のサービスです。シスコは現在、RSS バージョン 2.0 をサポートしています。

Cisco and the Cisco logo are trademarks or registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and other countries. To view a list of Cisco trademarks, go to this URL: www.cisco.com/go/trademarks. Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1110R)

© 2011 Cisco Systems, Inc.
All rights reserved.

Copyright © 2011, シスコシステムズ合同会社.
All rights reserved.